

1 テーマ

学ぶ楽しさを実感できる授業の創造 ～感動が連続する協同的な学びを通して～

2 テーマ設定の理由

「学ぶ楽しさを感じるからこそ身に付く」。学習の原点はそこにあると考えています。しかし、実際の授業の中には、わからない・できないことで意欲を失い、下を向いてしまっている生徒がいます。その悩む生徒に教師が個別指導をしている時間を持て余している生徒もいます。どちらの生徒にも学びが止まっている空白の時間があり、それはすなわち学ぶ楽しさを実感できていないのではと考えました。そこで今年度は、授業の中で「わかった!」「楽しい!」といった心の中に湧き起こる感動が得られる手立てを取り入れ、学ぶ楽しさを実感できる授業を展開していこうと考えました。

3 期待する生徒の姿

授業の中で味わわせたい「感動」を次のように捉えました。

- ①「できた」「わかった」といった理解できる・体得できる感動
- ②「楽しい」「深い」といった各教科の魅力を実感できる感動
- ③認められる喜びを味わえる感動

また、「協同的な学びのある授業」を、

一斉または少人数のグループ内において意見を交換したり、教え合ったりするなどの、他者との関わりがある授業

と位置付けます。

これらの感動を1時間の授業の中で、または毎時間の授業の中で連続して味わい、学ぶ楽しさを実感できる生徒を「めざす生徒像」とし、協同的な学びのある授業を通して育てたいと考えました。

4 そのために教師はこんなことをがんばります

ア 授業の工夫

- ・教え合い活動を取り入れます。
- ・理解が深まる教具の工夫をしたり、ICT機器を活用したりします。
- ・「考えたい」「やりたい」と思える課題を工夫します。
- ・発表方法を工夫します。
- ・「他の考えを聞きたい」「発表したい」と思える雰囲気づくりを工夫します。

イ 感動の記録

授業の終わりや単元ごとに、「感動したこと」を書かせます。よかったものは、学年通信や学校通信、ホームページに載せていきます。

【取り組みの構想図】

